

# ジャガイモによる食中毒防止のための実態調査及び普及啓発について

南多摩保健所生活環境安全課

寺村 渉 大井 奈津子 下嶋 一寛

## 1 はじめに

南多摩保健所管内では、一昨年度及び昨年度に2年連続してジャガイモに含まれるソラニン類を原因とする食中毒が発生した。いずれも給食ではなく、保育施設や小学校における教育活動の一環としてジャガイモを調理し喫食していた。保健所では食中毒予防の普及啓発を毎年実施しているが、教員や保育担当者に直接アプローチする機会はなく、調理実習に携わる教員や保育担当者の食品の取扱い状況等は把握できていなかった。

そこで、これまで国内で発生したジャガイモによる食中毒事例を検証するとともに、管内の小学校及び保育施設を対象に、授業や保育におけるジャガイモの取扱い状況等についてアンケート調査を実施したほか、それらの結果をもとに調理実習計画・記録表を作成し、指導を行ったので報告する。

## 2 実施内容

### (1) ジャガイモによる食中毒の発生状況の解析

食中毒統計により、国内において過去10年間に発生したジャガイモによる食中毒事例を調査した。厚労省が公表している食中毒統計では12件発生しており、1件を除きいずれも小学校や保育施設で発生していた。

### (2) ジャガイモの取扱いに関するアンケート

管内の小学校及び保育施設、計105施設に対してジャガイモの取扱いに関するアンケートを実施した。電子申請システム(LoGoフォーム)により、授業や行事等でジャガイモの取扱いや、ジャガイモの調達方法等について回答を得た。

### (3) 調理実習計画・記録表の作成・配布

ジャガイモを安全に提供するため、アンケート結果をもとに書き込み式の調理実習計画・記録表を作成し、市教育委員会や保育所主管課等を通して教員に配布した。

## 3 実施結果

### (1) ジャガイモによる食中毒の発生状況の解析

厚労省の食中毒統計で過去10年間に国内で発生したジャガイモによる食中毒事例を検証すると、12件の食中毒が発生していたが、1件を除きいずれも小学校や保育施設において給食以外の機会に発生していた(表1)。また当該食中毒の75%が6月及び7月に発生していた。

表1 過去10年間に発生したジャガイモによる食中毒事例

No.	発生日	都道府県	原因食品	原因施設	患者数	備考
1	2015年1月22日	奈良県	粉ふきいも(ジャガイモ)	小学校	31	調理実習
2	2015年9月10日	岡山県	ジャガイモ(カレー)	小学校	10	調理実習
3	2016年7月15日	静岡県	ゆでたジャガイモ	小学校	25	調理実習
4	2016年11月17日	北海道	ゆでたジャガイモ	小学校	7	調理実習
5	2017年6月29日	豊田市	ゆでたジャガイモ	小学校	22	調理実習
6	2017年7月14日	広島県	ゆでたジャガイモ	小学校	8	課外授業
7	2018年7月20日	鳥取県	ジャガイモグラタン他	飲食店	18	調理食品
8	2019年7月9日	兵庫県	ゆでたジャガイモ	小学校	16	調理実習
9	2022年6月2日	福岡県	ゆでたジャガイモ	小学校	7	調理実習
10	2022年6月15日	東京都	蒸したジャガイモ	保育施設	8	体験学習
11	2022年7月21日	長野県	ゆでたジャガイモ	小学校	46	調理実習
12	2023年6月5日	東京都	ゆでたジャガイモ	小学校	20	調理実習

### (2) ジャガイモの取扱いに関するアンケート

給食以外でジャガイモを調理提供していた施設は、保育施設では全体の1/4にあたる26%、小学校では半分にあたる47%に達した(図1)。またジャガイモの調達方法について確認したところ、教員が個人で購入する場合や学校で自家栽培したものをを使用する可能性があることが明らかになった(図2)。



